

テキサス州西部地区連邦地裁が特許訴訟を無作為に割り当てる方針を発表

2022年7月29日
JETRO NY 知的財産部
石原、赤澤

7月25日以降、テキサス州西部地区連邦地方裁判所のWaco支部に提起される特許訴訟は同地区内の判事に無作為に割り当てられることとなった。これまでWaco支部ではAlbright判事が多数の特許訴訟を担当し物議を醸していたが、米国の特許訴訟の状況が大きく変化することとなる。

Waco支部ではAlbright判事が在籍する唯一の判事として同支部に提起された全ての訴訟を担当してきた。Albright判事は迅速な審理日程を設定するほか、訴訟の停止や移送を認めないなど、特許訴訟を提起した特許権者にとって有利になる訴訟進行をする判事として知られている。2018年にAlbright判事が就任してから、Waco支部への特許訴訟の提起件数が急増し、2021年には米国の特許訴訟の約4分の1が同支部で提起されていた。

2021年10月には、Thom Tillis上院議員（ノースカロライナ州選出、共和党）及びPatrick Leahy上院議員（バーモント州選出、民主党）が特許訴訟のWaco支部への集中や原告によるフォーラムショッピングを問題視し、最高裁判所のJohn Roberts首席判事に検討を要請していた¹。これに返信する書簡の中で合衆国司法会議（Judicial Conference of the United States）は、訴訟が判事に無作為に割り当てられること、また、地裁判事はゼネラリストであり続けることを強く支持すると述べていた。

このような議論を受け、テキサス州西部地区のOrlando Garcia首席判事は7月25日付の命令²を発し、Waco支部で審理される特許訴訟の件数を考慮し、訴訟をバランス良く割り当てるために今後は特許訴訟を同地区に在籍する判事12名に無作為に割り当てる方針を明らかにした。

この命令はWaco支部における新規の特許訴訟にのみ適用されるため、現在Albright判事が担当している訴訟はそのまま同判事が担当する。また、Waco支部以外の支部に提訴された場合にはその支部で審理されることとなる。

テキサス州西部地区の他の判事は特許訴訟の経験が少ない、もしくは全くないとされ、今回の命令を受けて今後Waco支部への特許訴訟の提起は減少することが予想されている。近年、Waco支部での特許訴訟件数の増加に対応するため複数の法律事務所がWacoに新たに事務所を設置するなどしており、これらの事務所は今後の経営について検討を迫られることになるとみられている。

また、今後はテキサス州東部地区、デラウェア州地区、カリフォルニア州北部地区等、特許訴訟の経験の多い判事が在籍する地区において特許訴訟が増加すると予想されている。

（以上）

¹ https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Ipnnews/us/2021/20211115.pdf

² Order Assigning the Business of the Court as it Relates to Patent Cases (Jul. 25, 2022)